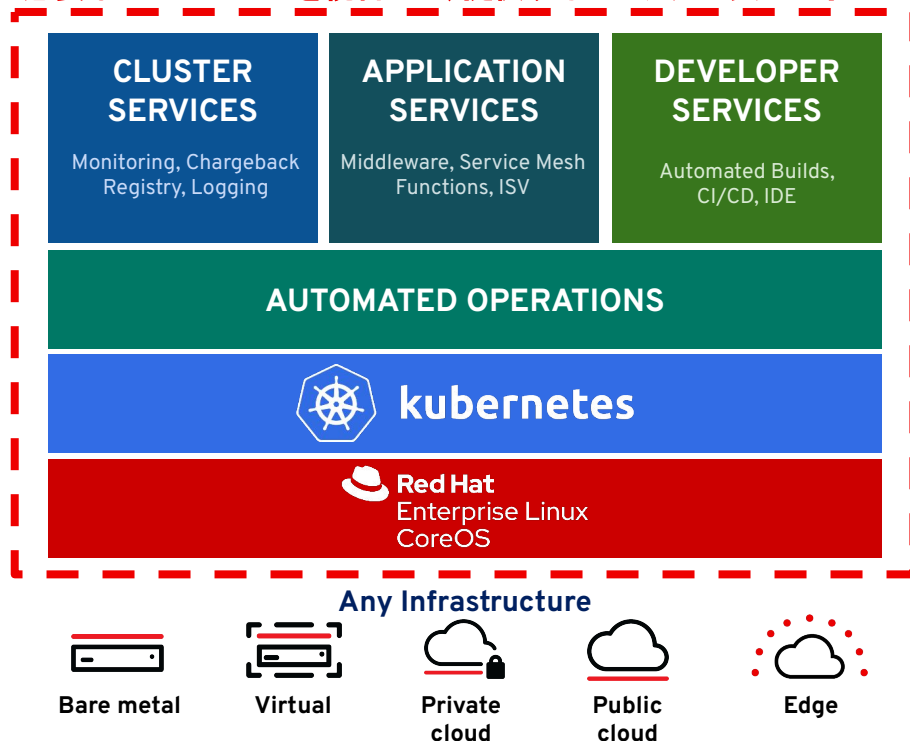




# **Managed OpenShift Service (OpenShiftに関する クラウドサービス)**

# Red Hat OpenShiftの提供価値

OpenShiftは、レッドハットがOSを含め、コンテナの開発・運用に必要なサービス全てを統合して、提供するコンテナプラットフォーム



## ビジネスとして本来フォーカスすべきポイントとは？

多くの企業は、コンテナ運用に必須のツール選定や、導入/設計、統合に多く時間を取られている。

## OpenShiftは**全てのレイヤー**を提供

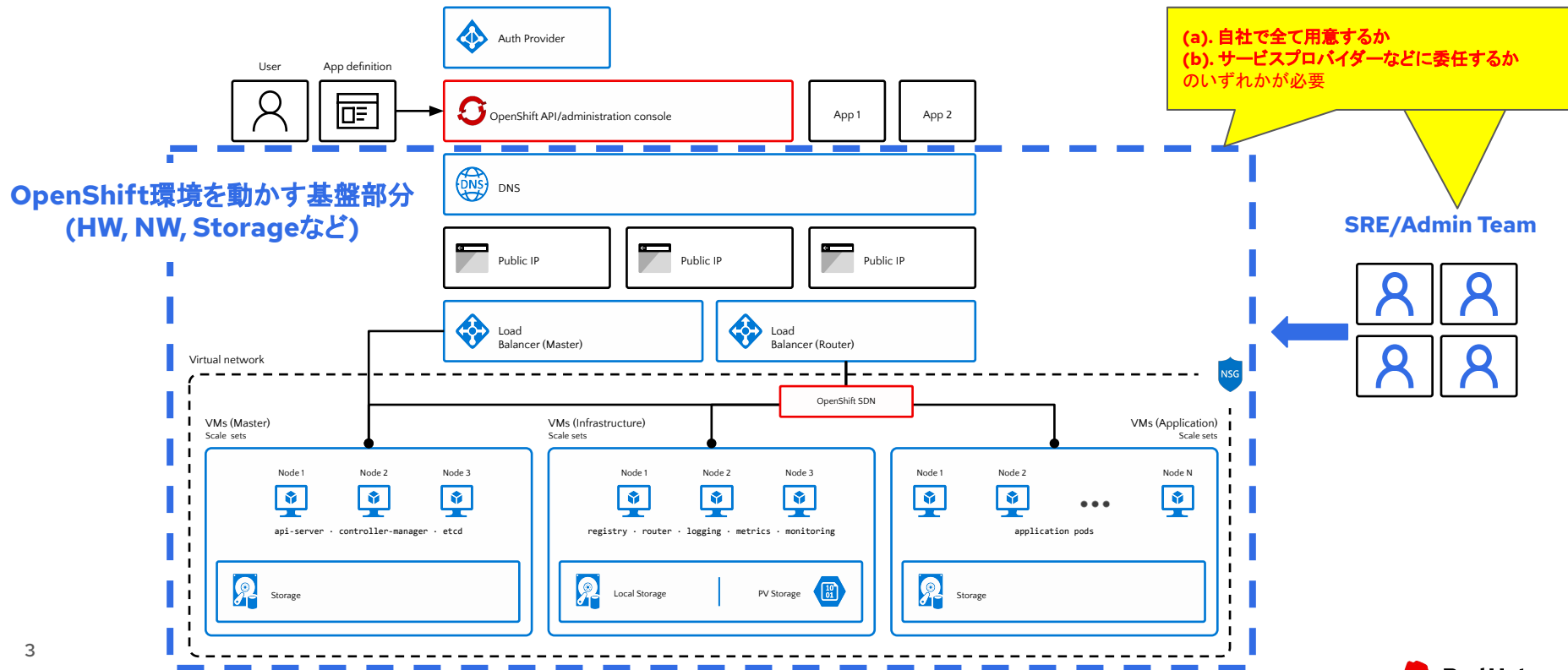
どの環境でも、

- 自動化された運用プロセスを実現
- 同様の手順でアプリケーションを稼働
- 迅速かつ信頼性の高いOS

プラットフォーム設計、サービス選定から解放し  
**ビジネス価値の創造にフォーカス**

# OpenShift環境の運用に必要なもの

- OpenShiftの運用には、ハードウェア、ネットワーク、ストレージなどの設計、運用、障害対応が必要
  - Kubernetesをはじめとしたハードウェア、ネットワーク、OSなどの知識や運用スキルが必要



# Red HatがOpenShiftのManaged Serviceを推奨する理由

## 運用の複雑さを軽減し、開発者がアプリケーションの構築と運用に集中



### 素早い価値の提供

- ・ 管理されたクラスタを数十分で提供
- ・ 開発者の生産性を90%向上
- ・ ビジネス付加価値の高いアプリケーションにフォーカスした開発を支援



### 運用効率の向上

- ・ インフラリソースの管理から日常業務までFully Managed
  - 監視、ロギング、ネットワークなどを含む
- ・ 柔軟な消費ベースの価格設定



### 24x365のサポート

- ・ SLA 99.95% (ROSA, OSD)
- ・ 業界をリードするSREチームによる24時間365日のフルスタック管理とサポート
- ・ 完全監視、管理、更新

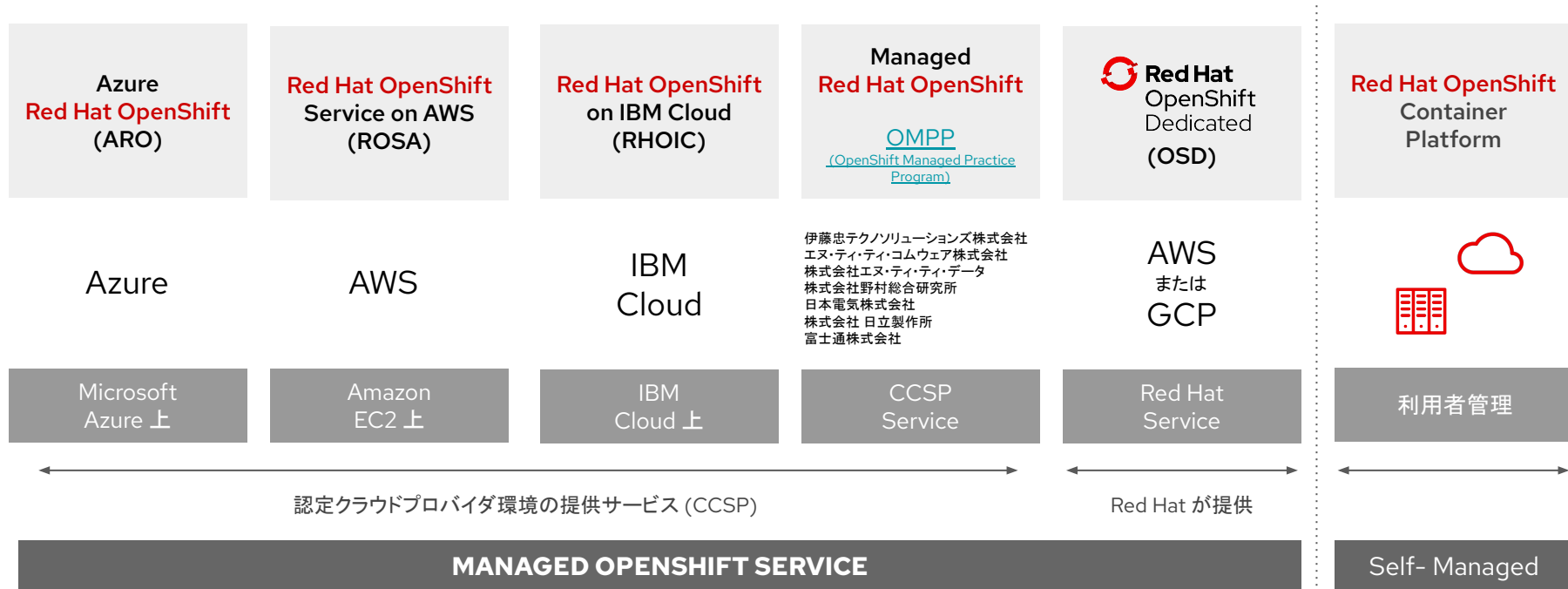


### クラウドの選択肢

- ・ すべての主要なパブリッククラウド上でManaged Kubernetesを提供する唯一の企業
- ・ クラウドを超えた一貫したOpenShiftの経験

# Red Hat OpenShift Everywhere

OpenShiftは、Azure上でも、AWS上でも、Google Cloud上でも、Red Hat OpenStack上でも、VMware上でも、オンプレのベアメタルサーバ上でも、[テスト済み](#)なので、場所を選ばずにどこでも同じ知識で運用を回す事ができるというのが大きな特徴です



# Red Hat OpenShift Managed Practice Program (OMPP)

## 参加パートナー

伊藤忠テクノソリューションズ株式会社  
エヌ・ティ・ティ・コムウェア株式会社  
株式会社エヌ・ティ・ティ・データ  
日本電気株式会社  
日本アイ・ビー・エム株式会社  
株式会社野村総合研究所  
株式会社 日立製作所  
富士通株式会社

## OMPP参加要件:

- Red Hat OpenShift Practice Builder Programへの登録
- Red Hat OpenShiftを利用したマネージドサービスの提供
- Red Hat OpenShiftをベースとした  
中長期ビジネスプランの策定
- 提供サービスにおいてRed Hat OpenShift  
を利用していることの公表
- Red Hat OpenShift Container Platform SREのアサイン

## OpenShift Partner Ecosystemの一環

～ 基盤・アプリケーションからサービスインテグレーションまで ～

OMPPは、Red Hat OpenShiftのマネージドサービスを提供するパートナー企業を対象とした支援プログラムで、技術者の育成による安定したサービス提供とRed Hat OpenShiftのビジネス機会拡大を目指すものです。



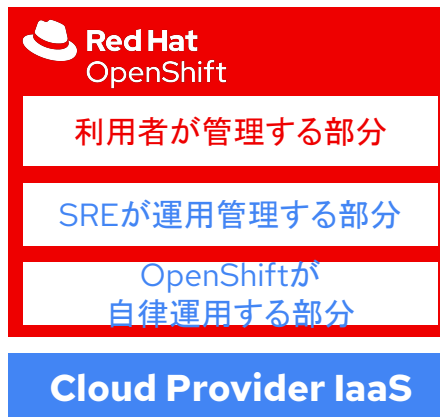
Red Hat OMPPは開発者が意識せずとも安心、安全、信頼、品質の高いコンテナ基盤を提供します

# OpenShift運用管理の基本的な分類

## SREが運用管理する部分

Red Hatやマネージドサービス  
プロバイダのSREが行う作業

- Cluster Logging / Monitoring
- クラスタアップグレード
- クラスタ障害対応
- キャパシティ管理 など



## 利用者が管理する部分

サービス利用に伴う作業

- テナント(Project)設計
- アプリ開発・運用、アプリのデータ管理
- クラウドのストレージ、  
ネットワークを利用するための設定
  - ストレージプール設定
  - プライベートネットワーク設定 など
- Compute Node の追加・削除・  
ラベル付加、の実行指示
- ユーザー管理 (RBAC含)
- プラットフォーム監査ログ要求 など

## OpenShiftが自律運用する部分

Cluster Operatorによって  
動的に管理されるもの

- クラスタ作成 (API経由で作成)
- Controller / Compute Nodeの保守
- IaaSの制御
  - クラウドのストレージ、  
ネットワークの払い出しなど

利用者は、**RHEL+Kubernetes**の上で実行するアプリの設計・開発・運用、将来の成長性を見込んだスケールアウト・ダウン、共同開発グループを作成するためのユーザー管理、に集中できます。

言い換えると、これら以外の項目の変更や管理をしたい場合、マネージドでない、通常のOpenShiftのご利用を推奨します。

# Thank you

Red Hat is the world's leading provider of enterprise open source software solutions. Award-winning support, training, and consulting services make Red Hat a trusted adviser to the Fortune 500.



[linkedin.com/company/red-hat](https://www.linkedin.com/company/red-hat)



[facebook.com/redhatinc](https://www.facebook.com/redhatinc)



[youtube.com/user/RedHatVideos](https://www.youtube.com/user/RedHatVideos)



[twitter.com/RedHat](https://twitter.com/RedHat)